

(様式1)

教育研究業績書

2026年5月1日

氏名 佐藤 直子

研究分野

学位

看護管理学・看護教育学

修士（看護教育学）日本赤十字看護大学
博士（看護管理学）日本赤十字看護大学大学院

研究内容のキーワード

看護管理学・組織行動・看護政策

教育上の能力に関する事項

事

項

年 月 日

概 要

1. 教育方法の実践

2002年 8～9月	修士課程（看護教育学領域）で、教員としての立場で臨地実習指導
2018年～2019年	日本赤十字看護大学にて学生臨地実習 ティーチング・アシスタント
2022年6月～8月	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 認定看護管理者教育課程サードレベル 統合演習・政策提言アドバイザー
2022年5月～8月	群馬県立県民健康科学大学大学院 看護政策論 アシスタント
2022年5月～8月	秋田大学大学院 看護政策看護管理学特論 アシスタント
2022年6月～8月	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 認定看護管理者教育課程サードレベル 政策提言演習 アドバイザー実施
2023年4月～7月	西武文理大学 療養援助技術 授業演習担当
2023年4月～7月	西武文理大学 ヘルスアセスメントII 演習担当
2023年4月～7月	西武文理大学 看護過程論 演習担当
2023年4月～7月	西武文理大学 看護管理論 授業担当
2023年4月～7月	西武文理大学 安全管理論 科目責任者
2023年10月～	西武文理大学 災害看護論 演習担当
2023年10月～	西武文理大学 看護援助基礎論 授業演習担当
2023年10月～	西武文理大学 生活援助技術 授業演習担当
2023年10月～	西武文理大学 ヘルスアセスメントI 演習担当
2023年10月～12月	日本赤十字北海道看護大学 修士課程「看護政策論」非常勤講師
2024年4月～7月	西武文理大学 療養援助技術 科目責任者
2024年4月～7月	西武文理大学 ヘルスアセスメントII 演習担当
2024年4月～7月	西武文理大学 看護管理論 授業担当
2024年4月～7月	西武文理大学 安全管理論 科目責任者
2024年4月～7月	西武文理大学 看護過程論 演習担当
2024年10月～	西武文理大学 災害看護論 演習担当
2024年10月～	西武文理大学 看護援助基礎論 授業演習担当

	2024年10月～	西武文理大学 生活援助技術 授業演習担当
	2024年10月～	西武文理大学 ヘルスアセスメント1 演習担当
	2024年10月～	西武文理大学 看護援助基礎論 授業演習担当
2. 作成した教科書、教材	2021年5月 2022年4月	神奈川県立保健福祉大学学部2年 「看護関係法規」授業資料を教授と作成
	2021年11月 2022年11月	神奈川県立保健福祉大学学部4年 看護管理学「看護行政と政策決定過程」の 授業資料を教授と作成
	2022年4月	多職種連携推進課程「保健・医療施策の動 向と他職種連携」の授業資料を教授と作成
	2022年5月	群馬県立県民健康科学大学大学院 看護政 策論 アシスタント：演習資料の作成
	2022年5月	秋田大学大学院 看護政策看護管理学特論 アシスタント：演習資料の作成
	2022年6月	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 認定看護管理者教育課程サードレベル 政 策提言演習資料の作成
	2023年4月前期	西武文理大学 基礎看護学領域 「療養援 助技術」 講義資料・演習資料作成
	2023年4月前期	西武文理大学 看護管理学領域 「看護管 理論」 講義資料作成・レポート課題作成
	2023年9月後期	西武文理大学 基礎看護学領域 「生活援 助技術」 講義資料・演習資料作成予定
	2023年9月後期	西武文理大学 看護管理学領域 「災害看 護論」 演習資料作成
	2023年5月～8月	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 認定看護管理者養成課程サードレベル「統 合演習（看護政策）」演習資料作成
	2023年10月～12月	日本赤十字北海道看護大学 修士課程「看 護政策論」 演習資料作成
	2023年11月	前田光哉・石原美和編（2024），新体系 看 護学全書 健康支援と社会保障制度④関係 法規 改定第20版，メヂカルフレンド社。 佐藤直子，第3章- I 保健師助産師看護師法担 当
	2024年4月～	西武文理大学 療養援助技術科目責任者 授業資料作成
	2024年4月～	西武文理大学 看護管理論授業資料作成
	2024年10月～	西武文理大学 看護実践基礎論授業資料作 成
	2024年10月～	西武文理大学 生活援助看護技術授業資料 作成
	2024年10月～	西武文理大学 災害看護論演習資料作成
	2024年11月	前田光哉・石原美和編（2024），新体系 看 護学全書 健康支援と社会保障制度④関係 法規 改定第20版，メヂカルフレンド社。佐 藤直子，第3章- I 保健師助産師看護師法 （p. 26-40）、第12章労働に関する法律 （p. 238-254）担当
3. 教育上の能力に関する大学等の評価		特になし

4. 実務の経験を有する者についての特記事項		
災害救護活動	2004年10月	・新潟県中越地震 日本赤十字社医療センター救護班として災害救護班活動
災害救護活動	2007年7月	・新潟県中越沖地震 日本赤十字社医療センター救護班として災害救護班活動
看護研究倫理審査会立ち上げ	2007年	・日本赤十字医療センターにて、看護研究倫理審査会設置の企画から運営
災害救護活動	2011年3月11日～13日	・東日本大震災 日本赤十字社医療センター災害救護班初動活動救護班リーダー
地域連携に向けた研修会実施	2012年～2014年	・地域連携施設との研修会企画運営
5. その他	2022年10月～2024年3月	看護がつなぐ医療と暮らし 在宅看護サービスへのアクセシビリティ向上のための政策研究（研究主幹：石原美和・松永早苗・渡邊千登世・津村和大・三浦公嗣・増田政江・中村由佳・佐藤直子）

職務上の実績に関する事項

事項	年月日	概要
1. 資格、免許等	1993年 5月10日	看護師免許
2. 所属学会		日本看護管理学会 日本看護教育学会 日本看護科学学会 日本在宅看護学会 日本赤十字看護学会
3. 実務の経験を有する者についての特記事項		特記事項無し
4. その他		西武文理大学（実習委員会委員・学生サービス委員会委員・保健委員会委員）

(様式2)

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1. ホスピス緩和ケア病棟,	共著	2011年	著書 梅田恵・射場典子編 (2011). 看護学テキストNICE 緩和ケア 大切な生活・尊厳ある生をつなぐ技と心. 南江堂.	緩和ケアについてのテキストの中の一部の「ホスピス緩和ケア病棟」について役割や環境設備の在り方、医療チームで行われる緩和ケアについて解説した。pp. 35-38. (全264頁)
2. 新体系 看護学全書 関係法規 健康支援と社会保障制度④	共著	2023年11月	著書 山本光昭監修・石原美和、前田光成編集 (2023)。メジカルフレンド社.	保健師助産師看護師法について、看護専門職として基盤となる必要内容について解説した。また、年度のトピックに合わせた情報も盛り込んでいる。pp. 23-40. (全260頁)
3. 新体系 看護学全書 関係法規 健康支援と社会保障制度④	共著	2024年11月	著書 山本光昭監修・石原美和、前田光成編集 (2024)。メジカルフレンド社.	第3章「保健師助産師看護師法」保健師助産師看護師法について、看護専門職として基盤となる必要内容について解説した。また、年度のトピックに合わせた情報も盛り込んでいる。pp. 23-40. 第12章「労働に関する法律」労働基準法等、看護職として働くうえで必要な労働に関する法律について盛り込んでいる。pp. 237 -254 (全269頁)
4. できる看護師のキャリア戦略：迷ったときに読む100のヒント			監修：椎橋依子、勝博史 (2025) メメディカル・ケア・サービス (新人教育教材)	担当：Part3-43 「お互いが気持ちよく休むために必要なこと」休暇に関する法律の説明および気持ちよく休暇を取る交渉について新卒看護師向けに解説した。pp. 107-109(全274頁)
5. 新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度④関係法規 改定第22版			著書 前田光哉・石原美和編 (2024), メジカルフレンド社.	担当：第3章-I 保健師助産師看護師法担当 保健師助産師看護師法について解説および最近の動向について記載した。第9章「労働に関する法律」看護に係る労働に関する法律について解説及び最近の動向について記載した。

<p>(学術論文)</p> <p>1. 救急外来の看護師が抱く「ネガティブ」な感情</p> <p>2. 【看護部のマネジメントは病院移転でどう機能したか 日本赤十字医療センターの場合】病院移転の実際 [その1] 「患者移送」事前に準備が成否を分ける.</p> <p>3. 医療提供体制の改革による計画的な病院統合・病棟再編に関する研究の動向.</p>	<p>単著</p> <p>共著</p> <p>単著</p>	<p>2004年3月</p> <p>2020年9月</p> <p>2021年1月</p>	<p>修士論文</p> <p>看護管理, 20(9), 790-797. (解説)</p> <p>日本赤十字看護学会誌, 22(1). 41-49. (博士論文の副論文として投稿)</p>	<p>2次救急外来の看護師にインタビューを行い、救急外来の看護師が抱く「ネガティブ」な感情の文脈を抽出し質的に分析した。看護師は「ネガティブ」な感情を抱くが、逃げ出さずに看護実践を展開していた。「ネガティブ」な感情はヒューマンケアにおいて生じているものが多く、ヒューマンケアに必要な対応能力に関する教育の必要性が示唆された。</p> <p>大和田恭子・佐藤直子 勤務していた日赤医療センターが病院移転した際に、「患者搬送」チームのリーダーとして、準備や当日の患者搬送システムについての実践報告した。</p> <p>我が国の医療計画の一環として、地域医療構想計画が行われ、医療施設では、計画的な病院統合・病棟再編が推進されている。そこで、病院統合・病棟再編における研究について文献検討を実施した。</p>
<p>(学会発表、講演など)</p> <p>1. 学会発表 救急外来の看護師が求める管理体制：ネガティブな感情に焦点をあてて。(口頭)</p> <p>2. シンポジスト 緩和ケア事例検討</p> <p>3. 脳腫瘍患者への緩和ケア：家族ケア(講演)</p> <p>4. 東日本大震災における救護班初動活動</p> <p>5. 学会発表 薬害HIV/AIDS患者の精神健康・身体症状・生活の満足度に関する25年間の縦断調査と患者のとの振り返り。(口頭)</p> <p>6. 認定看護管理者サードレベル教育課程における政策提言能力向上のための演習プログラムの検討(口頭)</p> <p>7. 看護職の配偶者控除額を引き上げ：人材確保するために(口頭)</p>	<p>単著</p> <p>単著</p> <p>単著</p> <p>単著</p> <p>共著</p>	<p>2004年8月</p> <p>2010年7月</p> <p>2010年11月</p> <p>2011年12月</p> <p>2021年11月</p> <p>2023年5月</p> <p>2023年5月</p>	<p>第8回日本看護管理学会(栃木)</p> <p>第18回 城南緩和ケア研究会(東京)シンポジスト</p> <p>緩和ケア研究会(東京)講演 緩和ケア病棟における困難事例</p> <p>第31回看護科学学会学術集会(高知)ナーシング・サイエンス・カフェ 講演</p> <p>第35回日本エイズ学会学術集会(東京)</p> <p>第54回(2023年度)日本看護学会学術集会(横浜)</p> <p>第54回(2023年度)日本看護学会学術集会(横浜)</p>	<p>救急外来の看護師を対象にインタビューを実施し、救急外来で業務する中で認識したネガティブな感情に関する文脈を抽出し、救急外来の看護師が求めている管理体制を明らかにした。</p> <p>これらかの緩和ケアについて、緩和ケア病棟の立場で事例報告し、ディスカッションを行った。</p> <p>脳腫瘍がある入院患者のケアおよび家族ケアについて事例を活用し評価と課題を含めて報告した。</p> <p>東日本大震災における初動の救護班活動と救護班のリーダーの役割を事例を通して講演した。</p> <p>○石原美和・島田恵・大金美和・松永早苗・八楯類子・佐藤直子・池田和子・柿沼章子・武田飛呂城、薬害HIV感染患者の25年間の縦断調査の第3段の調査を行い、25年間の主な出来事と満足度の変遷を明らかにした。「偏見・差別の時代」「HIV=死の時代」「ART奏功の時代」「肝炎暗黒の時代」「加齢による変化の時代」の共通する5つの時代が明らかになった。</p> <p>○石原美和・佐藤直子、日本看護協会の認定看護管理者養成課程サードレベルにおける政策提言に関する学習到達レベルと具体的な指導内容を分析し、政策提言能力向上のための教育プログラムの開発に資する知見を得た。学生は「政策提言を考えるプロセス」を体験することで政策提言作成することができていた。政策、制度の見方を深く学べ、政策提言をしていくことの重要性を学習できる教育プログラムであった。</p> <p>○宮田久美子・藤井あゆみ・館林美加子・高谷一枝・佐藤直子・石原美和、看護職人材確保政策の一環として、パート看護職が一般職のパートの約半分の労働時間しか勤務できない不具合を解消すべく、看護職の配偶者控除額の引き上げの政策案を作成した。</p>

8. 地域一体型でできるACPを目指した政策案の検討（口頭）	2023年5月	第54回（2023年度）日本看護学会学術集会（横浜）	○我妻雪子・多田早苗・中村供美・古屋雅世・佐藤直子・石原美和、我が国におけるACP普及に関する問題点と課題を明らかにし、政策案を検討した。ACPの普及は発展途上の段階であり、地域一体型で普及していく必要性が明らかになった。
9. 病院から訪問看護サービスへのアクセシビリティを阻害する要因（口答）	2024年8月23日	第28回日本看護管理学会学術集会（名古屋）	○佐藤直子・大場紅莉・柴田三奈子・渡邊千登世・石原美和、病院退院から訪問看護サービスへつなぐアクセシビリティが上手くいかない要因を明らかにした。
10. 看護がつなぐ医療と暮らし 病院から訪問看護サービスへ 看護連携が流れる政策アプローチ （インフォメーション・エクステンジ シンポジスト）	2024年8月	第28回日本看護管理学会学術集会（名古屋）	○佐藤直子・石原美和・柴田三奈・奥田悦子、シンポジストとして研究結果を発表報告し、その他病院側からの実施内容報告、地域の訪問看護側から上手く連携した事例を通じた報告を行い政策的ディスカッションを実施した。
11. 病院から訪問看護サービスへ「看護がつなぐ」（交流集会）	2024年11月	第14回日本在宅看護学会学術集会（船橋）	○石原美和・大場紅莉・佐藤直子・柴田三奈・水野伊津子・松永早苗、研究結果、病院側、訪問看護側からの実施している良い事例を報告しディスカッションを実施した。
12. 病院から訪問看護サービスへのアクセシビリティを高める看護の挑戦（交流集会）	2024年12月	第44回日本看護科学学会学術集会（熊本）	○松永早苗・石原美和・岩崎理佳・樋口幸子・柴田三奈子・佐藤直子・中村由佳・大場紅莉、病院側から実施したアクセシビリティの良かった事例から工夫点、訪問看護側から工夫してアクセシビリティが良くなった事例などと研究結果を報告し政策的解決策を検討。
13. 一般演題発表 看護系大学大学院博士後期課程における政策提言能力育成プログラムの実践と教育的効果の検討（口頭）	2025年8月	第29回日本看護管理学会学術集会（北海道）	○石原美和・佐藤直子・石川貴美子・高井ゆかり、博士課程における政策提言に関する学習到達レベルと具体的な指導内容を分析し、政策提言能力向上のための教育プログラムの開発に資する知見を得た。学生は博士課程であり問題意識は明確であり、論理的思考能力も高い一方で、初めての政策立案を行う場合には、政策的視点の獲得に向けて体系的な支援が必要であった。
(その他) 1. 【基礎を学べば怖くない！ 共著 Q&A輸血業務完全マスター】.	2002年4月	ナーシング・トゥデイ、17(4)、19-43（解説）	○鈴木憲史・天谷洋・井上靖之・澤登雅一・中川靖章・松田功・勝間田裕子・最所浩美・佐藤直子・重元宏恵・島田夏子・鈴木奈緒子・小野直行・佐伯康弘・多田和子・鍋島いずみ 病院で行われる輸血業務に関してQ&A方式で解説する特集の一部の、「緊急輸血が多い部署（救急外来）での異型輸血防止策」に関する解説を担当し、具体的な防止策を記述した。
2. あなたが最後を迎えるなら自宅がよいですか？病院がよいですか？～看護が繋ぐ医療と暮らし～	2024年1月18日	東京財団政策研究所ウェビナー	○石原美和・前村聡・柴田三奈子・松永早苗・中村由佳・佐藤直子・大場紅莉 研究結果を報告し、その他のシンポジストが発表しディスカッションを行った。また、参加者から質問や意見を募った。企画・運営のスタッフとして実践した。
3. 看護の視点から政策を作るには	2024年9月28日	看護経済・政策研究会 第14回学術集会	第14回学術集会の企画・運営アシスタントを実施